

令和6年度 県立工業技術センター研究課題評価結果

個 票 No.	研究課題名	評価項目	評価結果			委員コメント (※類似コメントは集約)
			平均 得点	合計 得点	採否	
1	【事前評価】 播州織の最終消費者認知 度向上のためのニット試 作支援システム活用検討	必要性	4.3	17.1	採択	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人用アパレルへの展開とあるが、昨今大人用アパレルの需要があるのか疑問に思う。 ・認知度向上のため西脇ファッション都市構想や劇団四季の舞台衣装の共同開発などの取り組みは良いと思う。 ・大学や一般企業では取り組みにくい研究課題である。新しい視点からのチャレンジとして評価できる。 ・播州織の新たな展開の可能性がある。 ・播州ニットより「播州編(BANSYU-AMI)」の方がかわいい。 ・有効性、代替性共に高い。 ・播州織の消費者認知度向上のために最終製品を製造(試作)することは重要である。すでに、試作の依頼が多くあるということなので、有効性は高いと思われる。一方、編物の開発が織物の認知度向上につながる道筋がわかりにくい。 ・新ブランドとして開発研究と思う。 ・新たな分野へのチャレンジをされていることは評価できる。 <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的に洋服等はブランド名で購入されている。 ・西脇ファッション都市構想や万博、劇団四季などの知名度の高い所とコラボレーションするなどの取り組みに力を入れていくことが必要であると思います。 ・PRポイントを整理して積極的に発信し、新しい播州織(播州編)の開発や普及につとめていただきたい。 ・オリジナリティ(新しい価値)をしっかりと定義されて、アピールしていただければと思います。 ・新規性は高いので評価する。 ・編物の開発が織物の認知度向上につながる道筋をもう少し明確にする必要がある。 ・実際にこの分野に参入をされる企業との連携を進めて、実用と産業化の道筋を明らかにしていただきたい。
		有効性	4.4			
		効率性	4.0			
		代替性	4.4			
2	【事前評価】 環境対応革製造、高付加 価値化のための厚鞣しに おけるピックル不要鞣し に関する研究	必要性	4.7	17.4	採択	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化と環境対応の両立が必要とすることとあるが兵庫県の皮革産業の向上を目指すには必要不可欠な研究であり、また実現可能な内容でもある。 ・SDGsやグローバリゼーションの観点から必要な取り組みといえる。 ・コスト的に合理的、必要性、有効性も高い。 ・環境対応を促進するための技術開発であり、中小企業サポートのために公的研究機関がやるべき研究である。 <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しいと思うが、状況や成果をできるだけ定量的な数字をお示しいただければありがたいです。 ・社会実装の幅を広げ、実行してください。 ・環境対応プロセスを使った革を展示会に出品することにより知名度を向上することは理解できたが、それをどのように生かすのかを明確にしてほしい。 ・地域の企業との連携を深め、有用な技術の普及を図っていただきたい。
		有効性	4.4			
		効率性	4.0			
		代替性	4.3			